



令和6年12月9日

中部家保だより

発行：中部農業事務所家畜保健衛生課（中部家畜保健衛生所）

〒371-0051 前橋市上細井町 2142-1 電話(027)288-0371 FAX(027)230-8052

【 記 事 】

- 1 国内でランピースキン病が発生しました
- 2 管内でサルモネラ症が発生しました
- 3 冬季の消毒について
- 4 第28回群馬県畜産共進会（繁殖和牛の部、乳牛の部）の結果
- 5 浅間家畜育成牧場入退牧牛の冬季輸送及び令和7年度受託について
- 6 渋川家畜市場の認定牛に関する書類について
- 7 ハエ対策は冬のうちから
- 8 定期報告書提出のお願い

【 添付資料 】

- 1 ランピースキン病
- 2 浅間牧場観光用展示牛（県有牛）の導入について
- 3 浅間牧場 冬季入退牧牛の輸送について
- 4 第16回全日本ホルスタイン共進会
- 5 アニマルウエルフェアに関する調査にご協力ください！

◆◆ 国内でランピースキン病が発生しました ◆◆

令和6年11月6日、福岡県の2農場において、我が国で初めてランピースキン病が確認されました。以降、12月9日までに福岡県の18農場（乳用16農場、乳用・肉用1農場、肉用1農場）、熊本県の2農場（乳用1農場、乳用・肉用1農場）で本病の発生が確認されています。

牛に**全身の皮膚の結節**や水腫、発熱、乳量の低下等の本病を疑う症状がみられた場合には、その牛を速やかに隔離し、**中部家保までご連絡ください**。

ランピースキン病の皮膚病変や侵入防止対策については、別添の「**ランピースキン病**」リーフレットをご覧ください。

また、九州におけるランピースキン病の発生を踏まえた農林水産省の対応状況は、以下のとおりです。

- ・発生農場における生乳出荷及び生体移動の自粛、臨床症状を呈する牛の隔離
- ・周辺農場における異状確認（10km 圏内）、害虫防除対策（20km 圏内）
- ・周辺農場の調査及び移動牛の追跡調査の実施
- ・福岡県の発生農場周辺 20km の範囲において、11月21日からワクチン接種。

※発症牛や発生農場からの移動牛を自主淘汰した場合の再導入について、支援を調整中です。

※出荷自粛中の生乳の廃棄処理、本病を媒介する吸血昆虫対策、農場の消毒について、支援可能です。

なお、ランピースキン病にかかっている牛の肉や乳が市場に出回ることはありません。



詳しくは「ランピースキン病に関する情報」：農林水産省 HP(QR コード)

◆◆ 管内でサルモネラ症が発生しました ◆◆

牛のサルモネラ症は全国的に増加傾向にあります。通常 8～10 月に発生が多くみられますが、通年でも発生します。6 ヶ月齢以下で多く見られ、若齢であるほど感染しやすく、重症化しやすいことが知られています。主な症状は、**40℃以上の発熱や食欲不振、悪臭の強い下痢便、腸粘膜や血の混ざった下痢便**です。血清型によっては、下痢はあまりみられず、**呼吸器症状や流産の増加**がみられる場合もあります。適切な処置をしないと死亡する例も少なくありません。以下の対策法により感染を防止するとともに、牛に異常を認めた場合は、かかりつけの獣医師又は中部家保へご連絡ください。

●病原体の持ち込み防止

「立入禁止」等の看板を設置し、衛生管理区域に必要な人だけを立ち入らせない。また、不要な物を持ち込まないようにしてください。

人が立ち入る際や物を持ち込む場合には、洗浄、消毒を行ってください。

• 車両の消毒

入り口付近に動力噴霧器等の消毒施設を設置し、衛生管理区域内に入る車両(タイヤ、タイヤハウス、車体底部)を消毒しましょう。未舗装の場合などは石灰帯を利用しましょう。但し車両に対し十分な幅と長さが必要です(最低でもタイヤ一周する長さ)。



• 畜舎に立ち入る際の消毒

畜舎専用の衣類・長靴を設置し、着実に履き替えましょう。牛舎出入口付近には踏み込み消毒槽を設置しましょう。



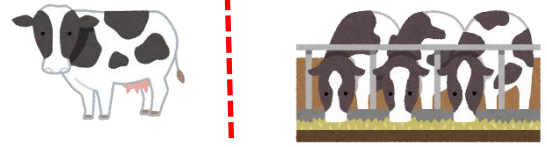
• 野生動物の侵入防止

野生動物の侵入防止のため、牛舎での入り口付近に防鳥ネットを設置するなどの対策が必要です。また、牛舎内、牛舎周囲にネズミ等の野生動物が隠れる場所をなくすことも有効です。普段から不要な資材等の処分、整理整頓を行いましょう。



・導入牛の隔離・観察

導入牛は一見健康にみえても、サルモネラを保菌している場合があります。一定期間(2~3週間程度)は他の牛と接触させないよう隔離飼育を実施し、健康観察を行いましょう。



●体調管理

牛の移動や昼夜の寒暖差の激しい時期はストレスが多く、免疫力が低下します。ストレスの少ない管理を心がけましょう。また、必要に応じてワクチン接種により免疫を高めましょう。

◆◆ 冬季の消毒について ◆◆

低温下では逆性石鹼の消毒効果が著しく低下します。 常温と同等の効果を得るために、どの程度の濃度が必要か製品により異なるので、有効濃度を確認しましょう。

冬期は暖かい時期よりも**濃い濃度**で使用してください。
逆性石鹼の有効希釈濃度 夏期 1000倍 → **冬期は 200倍へ!**

また、逆性石鹼に食品添加物規格品の高純度水酸化カルシウムを0.2%混合すると、強アルカリ化による相乗効果で消毒効果が高まります。なお、この製品は超微粉末なので、噴霧器でも使用可能です。

消毒液が凍結してしまう場合は、ヒーターによる加温のほか、不凍液の利用をおすすめします。消毒液への混合を目的とした畜産用不凍液も市販されておりますので、活用をご検討ください。



◆◆ 第28回群馬県畜産共進会（繁殖和牛、乳牛の部）の結果 ◆◆

令和6年10月23日（繁殖和牛）と25日（乳牛）に群馬県畜産試験場において群馬県畜産共進会が開催されました。繁殖和牛の部は48頭、乳牛の部は50頭の出品で、中部管内からは繁殖和牛9頭、乳牛7頭の出品でした。

主な成績は次のとおりです。

繁殖和牛の部

部別	入賞	名号	出品者
1部	優等賞	しずか	山本 雅俊
3部	優等賞	あさてる	阿久澤 拓矢
5部	優等賞	かみおき2065	八木原 茂

乳牛の部

7部	優等賞	Tマミ-ポッター-OKラバガスアパカ	細野 孝之
----	-----	--------------------	-------



繁殖和牛の部
第1部 優等賞
山本 雅俊

繁殖和牛の部
第3部 優等賞
阿久澤 毅

繁殖和牛の部
第5部 優等賞
八木原 茂

乳牛の部
第7部 優等賞
細野 孝之

◆◆浅間家畜育成牧場入退牧牛の冬季輸送及び令和7年度受託◆◆

現在、すべて年間牛として毎月入退牧を実施しています。冬季となると牧場周辺道路が凍結し、牛を運搬する運転手の方から不安の声が多く聞かれました。そのため、12～3月までの入退牧は、希望者に対して渋川家畜市場を中継地点として牧場から渋川家畜市場間は（株）昌栄による輸送を実施します。



*別紙「浅間牧場 冬季入退牧牛の輸送について」参照

令和7年度受託は随時受付しています。入牧を希望する牛（概ね7ヵ月齢）がいる農場については、中部家保まで連絡をお願いします。

◆◆ 渋川家畜市場の認定牛に関する書類について ◆◆

渋川家畜市場に上場する成牛において、群馬県 JA 繁殖和牛部連絡協議会による認定条件に必要な書類は以下のとおりです。

1 牛ヨーネ病に関する書類

ヨーネ病カテゴリー I 証明書

当該農場においてヨーネ病の発生が無い（カテゴリー I に区分される農場である）ことを証明する書類。

注：通常、一週間から10日程度で交付が可能ですが、飼養牛のうち、**県外から導入した牛のヨーネ病検査を受けていない牛がいる場合、未受検牛の検査が必要**となり、交付までに時間がかかります。

●県外導入牛検査（ヨーネ病検査）1頭当たり

検査項目	検体	手数料	備考
遺伝子検査 (PCR)	糞便	1,290 円	全ての繋養地のカテゴリー I 証明書がある場合は不要

*本来は上記の項目を導入後直ちに実施する必要があります（群馬県ヨーネ病防疫対策要領に規定）。ただし、導入前1か月以内に上記検査が実施しており、家保が確認した場合は検査不要です。なお、肥育牛は検査対象外です。

2 牛ウイルス性下痢（BVD）に関する書類

出荷前に検査を受け、陰性が確認できる書類（家保からの回答等）。

3 牛伝染性リンパ腫（BLV）に関する書類

出荷前3か月以内に検査を受け、陰性が確認できる書類（家保からの回答等）。

申請の際には日程に余裕をもってご連絡ください、また、検査当日までに必要分の群馬県証紙をご用意ください。

【文書料及び検査料】

ヨーネ病カテゴリー証明 590円

牛ウイルス性下痢検査 1,290円

牛伝染性リンパ腫検査 590円

※県証紙のご用意は、**検査項目ごとに分けて**ご準備ください。

◆◆ ハエ対策は冬のうちから ◆◆

ハエは、家畜の伝染性疾病や苦情の原因となります。

日々の畜舎内外の清掃や家畜排せつ物の適切な処理が重要です。

ハエは、15℃を超える時期から急増すると言われています。

冬のうちから以下の対策を実施してみてもいいでしょうか。

- ・畜舎内外の湿った場所への脱皮阻害剤（IGR剤）の散布
- ・ハエのたまる暖かい場所へのハエ取り紙や粘着トラップシートの設置

◆◆ 定期報告書提出のお願い ◆◆

家畜伝染病予防法に基づき、家畜の所有者は、毎年2月1日現在の飼養状況（頭数、畜舎数等）を報告することになっています。

今回から報告は、電子申請に移行し、農林水産省共通電子申請システム（eMAFF：イーマフ）から申請することになりました。ご自身で入力された方以外の方は家畜保健衛生所で農場台帳の代理入力を進めています。

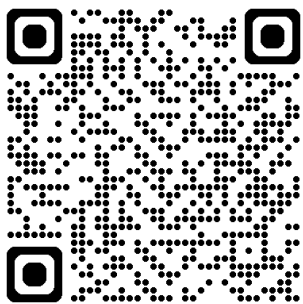
電子で対応困難な方については、報告様式を送付し、記入の上ご返送ください。代理で入力致します。

また、対応可能な方については、gBIZ ID プライム（ジービズアイディー：デジタル庁発行：eMAFFに入るためのID）の取得をお願い致します。

取得できた方については、ご自身で申請ができるようにするために、代理入力した農場台帳を紐付けしますので、家畜保健衛生所まで御連絡ください。

● gBIZ ID プライムの取得方法。

ジービスアイディーのホームページから申請し、取得できます。



ジービスアイディーのホームページ

●申請（提出）いただくもの

- ①定期報告書
- ②飼養衛生管理の遵守状況
- ③添付書類（農場や埋却地に変更がある場合、地図の提出をお願いします）

通知については1月下旬に発送予定です。また、申請（提出）期限については3月18日頃を予定しています。

ご不明な点がございましたら中部家保まで御連絡ください。

家畜保健衛生所は **365日24時間対応**の緊急連絡体制を確保しています。緊急時にはご連絡ください。

中部家保 027-288-0371

★ 畜産業を廃業された方にこの「中部家保だより」が送付された場合は、誠にお手数ですが、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。